Coppa's Home Visit 91

バトンをつなぐ家

～心も体もあたたまる住まい～

人と人との不思議なつながりに後押しされ、積み重なる縁によって、
想像をはるかに超える住まいに仕上がったK様の家。
一本の柱、一卓の机、手作りの作品、ひとつひとつに思い出話は尽きません。
つながりに感謝しながら住まうK様の豊かな暮らしを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit　No.91

建替え前の庭木を一部移植するなど、
元からあるものを活かす設計を大切にした。

長野市川中島町　K 様ご家族／
ご夫婦と娘さんの３人住まい
竣　　工／H27年11月　営業／脇坂奈緒
敷地面積／102.70坪　I　C ／川村裕子
延床面積／ 42.58坪　　施工／平澤雄太

工房信州の家に決めるまでのストーリーを教えてください！

ご主人　定年退職を目前にして、ゆくゆくは建替えを考えようと思ってはいたものの、時期は漠然としていました。トントン拍子で進められたのは、色々なつながりに支えられたからなんです。元々はラジオで社名を聞いたことがあり、書店で偶然に小澤社長の本を見つけて読み込んでいました。木の家や薪ストーブにも惹かれましたが、昔の家のイメージがある「土間」を現代にどう活かしているのか興味が湧きました。

奥　様　ちょうどその頃、夫婦ぐるみのお付き合いの同僚が家を建てると聞いてメーカーを尋ねたところ、私たちが興味を持っているのと同じ「工房信州の家」！話を聞いて盛り上がって初めて展示場にお邪魔したところ、その同僚の担当者である脇坂さんにばったり出会ってまた盛り上がり(笑)。提案内容も想像しなかったアイデアを次々といただき、期待が高まりました。私たちは当たり前のように南に向く暮らしをイメージしていましたが、敷地条件に合わせて東に大きく開放する空間を設計していただき、これが非常に心地良いです。

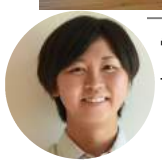
ご主人　実家に遺されていた山の木や古い板材の利用を勧めてくれたことも大きな後押しでした。まさか新居に使うとは思いもしなかった先代の遺品を我が家ならではの個性として活かしていただき、感激です。これを機にあいまいだった山の境界も明確になり、自分の山への意識も高まりました。家づくりに関われることも魅力的で、自分でデザイン・制作したステンドグラスは家じゅうから眺められ、充足感があります。

新居が完成していかがですか？

奥　様　とにかく暖かいですよ！前の家では、毛布・あんか・靴下がないと眠れませんでしたが、今は羽毛布団一枚だけで十分です！

ご主人　御社には、未来のある会社だ、という印象を強く持っています。栄誉ある多くの賞を受賞され、メディアでも良く取り上げられている。特に、工房信州の家を象徴する空間である土間サロンは、作り手も住み手も信州人の気質である「ズク」がないとなかなかできないことだと思います。こうした家づくりがさらに信州に広がっていけばいいですね。

ご実家の山で伐採したスギを、リビングの丸柱と太鼓梁に。植え育ててくれた先代へ思いを馳せる空間。



担当　脇坂奈緒

雪積もる日に山へ入り伐採したこと、何十枚にもわたって構想を練ったステンドグラスのデザイン画など、私も一緒にたくさんの思い出を作らせて頂きました！

Focus on the Owner !!

野菜や植物を置いたり薪を割ったりと大活躍の土間サロン。美術の先生であったK様は、作品作りの作業場としても重宝されているそう。新年に向けて、新たな紙粘土作品の構想に余念がない様子でした！

奥様いちばんのお気に入りはダイニング。壁付ベンチに腰かけ、ワイドな開口から東の山並みを望む落ち着いた空間。

ご実家の倉庫に長く眠っていたケヤキ板は、美しい座卓に再生。お孫さんを含めた皆で囲む、一家団欒の主役に。

学生時代の石膏作品や家族のアルバムなど、思い出の品の寸法に合わせて飾り棚を計画したオープンな書斎コーナー。

中庭が結ぶ、二世帯住宅

二世帯住宅のスタイルは、十人十色。
Y様邸の場合、住まいの中心に配した中庭が
ご家族の人柄とも相まって、実に心地よく２つの世帯を結んでいます。
理想的な二世帯暮らしを実現するY様ご家族のこだわりとは。

←HPフォトギャラリーで
未掲載写真を公開中！

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit　No.90

西から東へと葺き下ろす大きな片流れ屋根が印象的。
来客への道案内は「三角の家」と言えば
分かってもらえて嬉しい、とY様。

伊那市　Y 様ご家族／　お母様・
ご夫婦・長男・長女の５人住まい
竣　　工／H29年2月　営業／後町勇貴
敷地面積／108.51坪　　ＩＣ／奥村瑠美
延床面積／41.20坪　　施工／赤羽和樹

**お洒落で素敵なお住まいですね！
こだわりを教えてください！**

奥　様　以前の住まいが無垢の木のアパートだったこともあり、木の家のイメージは明確にありました。何社か見学した中で、本物の木のぬくもりはありつつも、無骨ではなくスマートで、一番バランスが良いと感じたのが工房信州の家でした。

ご主人　ただ、一番の心配はお金のこと。外構やカーポート、家電など、建物以外も充実させたかったので、お高そうな工房信州の家では無理かなぁと。ダメもとで工房信州に声をかけつつ、同時に他社も検討しました。私たちからの要望は、人とは違う外観デザインと、中庭があること。他社さんでは「アレもコレも出来ます」という感じでいまいちピンと来なかったのですが、工房信州のスタッフさんは好みをよく理解したバランス良い提案で、さすがプロという印象。充実した空間設計なのに、延べ床面積は41坪に抑えられて、見積もりも予算内！すっかり安心して、仮契約の直後に家具一式を衝動買いしてしまいました(笑)

**二世帯でのお住まい心地は
いかがですか？**

ご主人　中庭を介して東西に各世帯が分かれる間取りで、気兼ねなく暮らせています。それぞれのリビングから中庭を眺められますが、窓の配置の工夫で視線は気にしなくて良いし、生活音も気になりません。

奥　様　私もお義母さんも溜め込まず何でも言う性格なので、ストレスはありません。小学生のお兄ちゃんの帰りが早くても、私が帰宅するまで一緒に居てくれるので安心ですし、洗濯物も取り込んでもらっています。生活時間が違うので食事は別々ですが、時にはおかずを一品交換したり。ベッタリでなく、いいバランスで関わり合えています。

ご主人　間取りも収納も文句なく"快適"の一言。夏は換気口を開けたら締め切った部屋もひんやりとして、エアパス効果にびっくり。冬は、薪ストーブはありませんが、２月の無暖房の朝でも14～15℃くらいで快適です。住みながら手を入れた庭もようやく完成形になり、四季の表情をピクチャーウィンドウから眺めるのが楽しみです。

ソファに腰かけて高窓から眺める中庭の景色が
ご主人いちばんのお気に入りだそう。

営業　後町勇貴

設計担当と協力して、予算内でトータルコーディネートが出来ました。建物以外の予算はご家族により様々。まずは家づくり全体の資金計画がオススメです。

Focus on the Owner !!

整頓上手なY様邸は、収納の中までこんなに綺麗！インスタグラムで情報収集し、SNSで話題の「シンデレラフィット」を見事に実現。シンデレラのガラスの靴のようにぴったり収まる収納なら、毎日気持ちよく過ごせそう。

木のぬくもりに満ちた、ひとつながりのLDK。板張りの腰壁は、デザイン性と汚れ防止の二役を兼ねる。

お母様のリビングからは、地窓を介して中庭を臨む。

天井高を抑え、板張り天井と京壁で仕上げた落ち着きある寝室。吹き抜けにつながる障子戸と間接照明にもこだわり。

Coppa's Home Visit 89

シンプル＆ミニマムな家

一階・二階合わせて、30坪に満たないS様の家。
けれど玄関から一歩入ると、広々とした開放感にあふれていることに驚きます。
それは、不要な間仕切りを排除した広がり間取りであることはもちろん、
気に入ったものだけを長く大切に使うS様のライフスタイルに依るところも大きいでしょう。
シンプルで心豊かな暮らしを体現するS様のお住まいを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit　No.89

茶系でまとめた外観は、庭木のグリーンにも映えることを意図したカラーリング。来春からはポタジェ（収穫と鑑賞の両目的を兼ねる庭）づくりに励むそう！

茅野市　S様ご家族／
ご夫婦と長女・次女の４人住まい
※ご主人はお仕事のため取材日は不在でした
竣　　工／H29年6月　営業／平井政人
敷地面積／121.40坪　ＩＣ／奥村瑠美
延床面積／29.02坪　施工／林　正義

どんな家づくりをしたいと考えていましたか？

奥　様　もともと建築やインテリアを見るのが好きで、無駄を排除したシンプルな空間が理想だと考えていました。木の家は何社も見学しましたが、工房信州の家を見てこんな家を建てたいと主人が惚れ込み、家づくりが具体的に動き出しました。建物そのものの良さはもちろん、スタッフの皆さんが嫌味がなく、分からないことは素早く答えてくれるスピード感があり、話を進めやすかったです。最終的な決め手は、選木ツアーやひとてま工房など、私たち家族が家づくりに関われる場がたくさんあること。任せきりではなく、参加して思い出に残る家づくりをしたいと思いました。
はじめに家族で話し合って決めたテーマは３つ「心と体にやさしい家」「冬あたたかく夏すずしい家」「長く愛着の持てる家」です。特に３つ目のテーマは、おじいちゃんおばあちゃんになっても似合う家でありたいと、主人と一緒に考えました。シンプルで応用のきく空間と、緑が似合う素朴なデザインを大切に打合せを進めました。

シンプルに暮らす秘訣と、これからの展望を教えてください！

奥　様　内装は、白とベージュを7：3で配色して、物を入れてもすっきり・かつ膨張色で広く見えるように考えました。収納は適材適所に細々つくるよりも集中した収納を大きく設けて、暮らしながら使い勝手よく工夫していける空間が便利ですよ。あとは、断捨離の本を読んで実践していますが、家族を巻き込むのはなかなか難しくて‥。捨てられない物にはその人なりの理由があるので、無理強いはしないようにしています。子どもはひと箱から物が溢れるようになったら選別して捨てるルールで、自分で管理させています。家族がそれぞれ納得いくかたちでシンプルライフに近づくことがいちばんです。次のシーズンは庭づくりが楽しみ！梅、柚子、アンズ、ブルーベリーやジューンベリーなど実のなる木を植えて、ジャムづくりや柚子湯を楽しむのが夢。家族みんなで季節を感じる暮らしを大切にしていきたいです。

リビング土間で、外との距離が近づく。
お子さんは自主的に庭の水やりをしてくれるそう。

営業　平井政人

住みながら、家や庭に手を入れることを大切にされているS様。月日がたつほど良い家になっていきそうで、今から楽しみです。

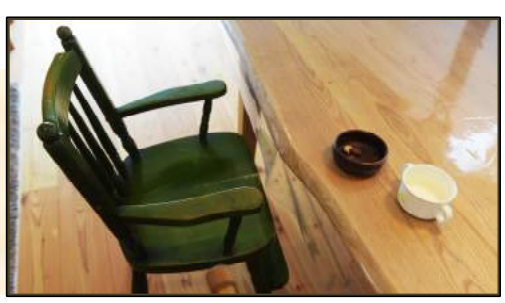
Focus on the Owner !!

深い緑色が印象的な子ども椅子は、奥様が子どもの頃に使っていたもの！奥様のお父様が大切にメンテナンスをされていたそう。母子二代にわたって受け継がれた美しい椅子は、S様の丁寧な暮らしぶりを象徴するようです。

壁付キッチンは木製扉で、インテリアに馴染むデザイン。ダイニングセットも合わせて「木のすず」でオーダー。

キッチンと統一した白の壁面タイルが清潔感ある造作洗面台。ポールヘニングセンのウォールライトが素敵。

二階に設けた大きなウォークインクローゼットは建具のないオープンスタイルで、日常使いがより便利に。



Coppa's Home Visit 88

生成りの家

お引渡しを目前に、スタッフが「こんなに未完成で良いのでしょうか」と心配したほど
飾らないシンプルさが魅力のT様邸。
自由度が高く、未来のどんな暮らし方も許容する、懐の深さを備えています。
「“未完成”という完成の在り方もあるんですよ」と教えて下さったT様のこだわりを伺います。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit　No.88

モノトーンできりりとまとめた外観。
「齢を重ねても似合う家であって
ほしい」とT様。

中野市　T様ご家族／
ご夫婦２人住まい
竣　　工／H29年1月　営業／寺澤周平
敷地面積／69.31坪　設計／片桐寿美
延床面積／34.37坪　施工／平澤雄太

まず、家づくりのきっかけを教えてください！

奥　様　いつかは建てたいな、という程度で、まったく具体性はなかったのですが‥。ランチのお店で偶然手にした雑誌に工房信州の家が載っており、見学したいとその足で展示場へ行き、木の家の質感に一目惚れ！「この家を建てたいから、家づくり計画を始めよう！」というのが動機です(笑)

ご主人　それから県内じゅうの工房信州の展示場をすべて見学。やっぱり工房信州が一番だとは思いましたが、金額面で勇気が出ず‥。家の雰囲気が近い他社を検討したものの、設計の専門スタッフが少なく工房信州のような提案力がない。結局、会社の同僚たちも皆しっかりローンを組んで頑張っているのだから俺も！と奮起しました。

どんなこだわりを持って家づくりをされたのですか。

ご主人　住宅雑誌を見て、断片的ながら空間イメージはかなり具体的にありました。でもやりたいことが多く、暮らし方も変わっていくので、あえてつくり込まず可能性が広がる空間にしました。将来、棚やカウンターを付けたくなりそうなところには下地を入れておき、ハンモックや絵をかけられるよう随所にフックを取り付け。二階は梁を表に出した斜天井なので床を張ればロフトが出来る。程よく壁もあるのでコーナーに畳を敷くことも自在。自由な空間をこれからどう使おうか、構想が膨らみます。

奥　様　オープンな空間ですが、適材適所に収納や目隠しの壁があり便利です。いつもこの位、物は少なく過ごせていますよ。

お住まいになって変化はありますか。

奥　様　とにかく洗濯がラク！すぐ乾く！前のアパートは室内干しで生乾きの臭いがひどかったですが、今は冬こそ洗濯が楽しいです。

ご主人　私は仕事柄、図面を見て立体を想像することは慣れていたので、竣工してもイメージ通りではありますが、唯一イメージしきれなかったのが太鼓梁の納まりです。一番太く曲がりのある梁を選んだので、枝付きの丸柱と組み上がった姿はインパクトがあります。やってみないと分からない、というのは既製品にはない面白さですね。
家を建ててから、ベタですが、早く家に帰りたくなりました。それまでは仕事人間で、やっただけ成果がついてくる達成感にのめり込んでいましたが、今は夕方５時には仕事を終えて薪ストーブで遊びたいと思うように(笑)。休日にピザを焼くのも良いですが、基本はビール片手にボーっと炎を眺めています。一杯目はダイニングで、二杯目はストーブ前で、がお決まりのパターン。なんでもない毎日が、至福の時間です。

設計　片桐寿美

構造的に必要な柱や壁を確保しながら、開放的なひとつながりの空間を計画しました。暮らし方を変え、自ら家に手を入れながら、長く楽しめる住まい。これからの進化がとても楽しみです！

Focus on the Owner !!

DIYにも精力的なT様。ダイニングテーブルも自作で、一万円以下の材料費で出来たそう！ご実家が設備系の自営業をされており「子どもの頃から工具がいつも身近にあったから、ものづくりへの抵抗が少ないんでしょうね」とT様。これからも住まいがどんどん進化していきそうです！

独立した部屋は寝室のみだが、程よい壁量で視線が遮られる、絶妙なバランスの広がり間取り。

Coppa's Home Visit 87

お出かけするより
楽しいわが家

わが家にタイトルをつけるなら、
「身近な夢の国」「出かけたくなくなる家」だというN様ご家族。
なんでも、休暇のリフレッシュにと出かけたペンションで、
自宅がいかに居心地良いかを再認識し、早々に帰ってきてしまったのだとか。
わが家時間がいちばんの贅沢の、笑顔あふれるN様邸を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit　No.87

車好きのご夫婦がこだわったビルトインカーポートと外構プラン。
ウッドデッキ前では芝を育成中！

上田市　N様ご家族／
ご夫婦とお子さんの５人住まい
※取材後、第三子がお生まれになりました！
竣　　工／H28年8月　営業／鴨井竜也
敷地面積／83.70坪　　設計／片桐寿美
延床面積／37.64坪　　施工／林　大輔

木の家を多く見学された中で、工房信州の家の決め手は？

ご主人　上田周辺には「木の家」を謳う住宅会社がたくさんありますが、実際に見に行ってみるとその内実はさまざまでした。集成材の臭いで息苦しい家、自然派志向に偏った家、要望次第でなんでもやりますという会社‥。何社も見る中で、一番バランスが良いと感じたのが工房信州の家でした。素材もデザインも上質なのにすっきりと控えめで、県内全域で頑張っている地元企業という規模感も魅力に感じました。
それとスタッフの距離感もちょうど良かったですね。小さな工務店では「気に入ったらまた来てくださいね」と言われて、こちらから行動を起こさないと話が進まない。正直ハードルが高かったです。工房信州の家ではスタッフと年齢層が近いこともありフランクに話せて、尚且つちゃんとリードもしてくれた。営業担当の鴨井さんと「竣工したら新居で呑みましょう」と約束をして、本当に実現して泊まっていってもらえたのは嬉しかったです。

スタッフはもちろん、職人さんとの関わりも深かったそうですね。

ご主人　工事中は現場に毎日のように通って、職人さんともよく話しました。細かな配線の収まりについて二時間も職人さんと話し込んだり‥。雑談も多かったですが、工事の過程を任せきりではなく、自分も参加しているという実感が持てました。
工事中にはひとてま工房で木工引き子づくりをしたのですが、これが楽しくて(笑)。以来手仕事に目覚めて、竣工してからも薪小屋などいろいろと手作りしています。

新居での暮らしはいかがですか。

奥　様　前はアパート住まいでしたが、引っ越してからは庭に出て子どもだけで遊ぶようになり、大人も子どものびのびできるようになりました。薪割にハマる主人の隣で、私は庭の手入れ、その横で子どもたちは砂利で遊ぶ。ちょっと疲れたらウッドデッキでお茶をしたり、ときにはピクニック気分でランチをしたり。外とつながる暮らしを新鮮な感覚で楽しんでいます。お出かけも良いけど、やっぱり我が家がいちばんです！

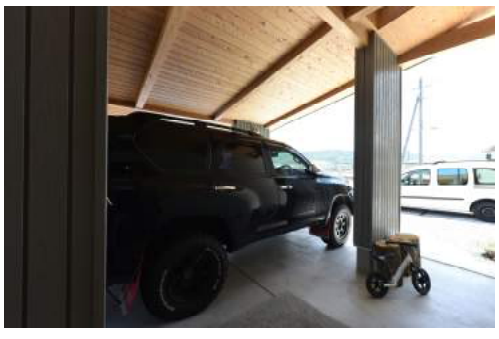
リビング座卓の大きな一枚板は、モンキーポッド。
「この木なんの木」のCMで有名なあの木です！

担当　鴨井竜也

同世代のご夫婦の家づくりは、とても楽しそうで羨ましくなりました。いつでもウェルカムなご家族。私にとってもマイホームのようです。

手元が隠れるカウンターキッチンですっきりと。
三灯連なる真鍮製ペンダントライトにセンスが光る。

二階の共有スペースは、吹抜けに漂うような感覚の「浮き床」。変化のある空間が楽しい！



玄関ポーチを兼ねたカーポートが、家のファサードに表情をつける。板張り天井は一部天窓で明るさも確保。

Focus on the Owner !!

「薪割りはスポーツ」と話すご主人の手慣れた斧使いは流石！
敷地外周をぐるりと囲む薪小屋もすべてお手製で、区画分けした薪材と収穫コンテナに収納した焚付け材が見栄えも良い。
「冬がきて焚くのが勿体ない」というほど充足感がある様子！

信州ライフを謳歌する家

長年の東京暮らしを経て、信州に居を構えたU様は、
移住していちばんの変化を「何かを我慢するストレスがなくなったこと」と話されます。
県外で暮らしたからこそ分かる、信州ライフの魅力とは。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit　No.86

北佐久郡御代田町　U様ご家族／
ご夫婦と息子さんの３人住まい
竣　　工／H29年3月　営業／柳澤悠子
敷地面積／203.95坪　I　C／藤澤知広
延床面積／50.66坪　　施工／林　大輔

東京から信州への移住を決めたいきさつを教えてください。

ご主人　私は長野県出身で東京で就職しましたが、東京の住まいはマンションでも戸建てでも30坪にも満たない。いつかは信州へ戻ってゆったり暮らしたいと思っていました。特に子どもが生まれて、就学までには環境の良い場所に引っ越したいという希望から、時期を決めて計画しました。

奥　様　私は県外出身ですが、子どもがのびのびできることがいちばんだと考えていたので、移住することへの抵抗はありませんでした。信州は寒いのだろうとは思いましたが、工房信州の家の性能の高さを知って暖かさは確保できる家だと思いましたし、土地も利便と環境のバランスの良い場所に巡り合えたので、不安はなかったです。

工房信州の家との出会いは？

ご主人　住宅雑誌が好きでよく見ていました。田舎暮らしの本やチルチンびと、なかでもＫＵＲＡに載っていた安曇野のお宅をよく覚えています。同じ移住のご夫婦の家で、信州の自然を楽しむ暮らしぶりがとても素敵でした。まずは私一人で長野南展示場へ行ったのですが、空気感がとても清々しいのが印象的で。他にも木の家をいくつか見学しましたが、呼吸して体に入る空気の質がこんなに違うものかと驚きました。

奥　様　そのあと主人が厳選した数社を一緒に見学に行きましたが、広々と開放的な空間づくり、おしゃれで洗練されたインテリア、機械に頼らないエアパス工法と、バランスのとれた工房信州の家に即決でした。悩まなかったです。

信州に引っ越して、暮らしに変化はありますか？

ご夫婦　いちばんの違いは、何かを我慢するストレスがなくなったことです。東京の家では子どもが騒ぐとご近所から苦情があり、周りを気にして「めいわくだからやめて」と子どもを制することが多かったのです。今の家では存分に走り回って大きな声も出せるし、外遊びをしていてもさほど危険もない。親も子どもも我慢しなくて良い、というのは大きな変化です。のびのびとありのまま過ごせる環境の豊かさを実感しています。

開放的な吹抜け。腰壁に埋め込んだ四角い３つのステンドグラスは、信州の山と四季をテーマにご家族３人で手作り。

担当　柳澤悠子

久々にお会いした奥様がはつらつとして、お子さんと遊ぶ姿は以前の小奇麗な印象から、良い意味でイメージが変わりました。今はDIYで薪小屋制作中だそうです!

フルオープンサッシの向こうにはプライベートなウッドデッキ。その先には八ヶ岳を望めるそう！

本好きなご家族のために、階段踊り場や二階共有スペースなど各所に造りつけの本棚を設けた。

スリット建具を開け放てばリビングと広々つながる土間サロン。ご主人は毎朝ここで新聞を読むのが日課だそう。

Focus on the Owner !!

温泉好きなU様ご家族。板張りの風情ある浴室に浸かると、窓から浅間山が望める。休日には近くにいくつもある温泉に出かけるのも楽しみで、息子さんは地元の女性陣とすぐに打ち解けて仲良くなってしまうのだとか！

Coppa's Home Visit 85

皺を刻むように深まる家

家づくりは、人生の一大イベント。そこには必ずストーリーが生まれます。
Y様の家づくりにも思いがけないドラマがたくさん。
今は亡き祖父の願い、営業担当者の感性、さまざまな“人の想い”が紡がれて
家づくり物語は深みを増すのだと気づかされる、Y様のストーリーです。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit　No.85

安曇野市穂高　Y様ご家族／
ご夫婦と娘さんの３人住まい
※ご主人はお仕事のため、取材日は不在でした。
竣　　工／H28年10月　営業／寺澤周平
敷地面積／103.07坪　I　C／藤澤知広
延床面積／31.55坪　　施工／山住和志

西の大きな窓から眺める山並みが素敵！良い土地を見つけましたね。

奥　様　ありがとうございます。でも実は、私たち夫婦の中では一度却下した土地だったんです。担当の寺澤さんにも内緒の話なのですが‥。他社さんに先に土地紹介をしてもらって、この土地の情報も知っていました。その時点では、南の大きな家が圧迫感があり良い土地だと思わなくて。
その翌週フォレストさんの土地紹介ツアーがあり、再び案内されたこの土地。「ここは選ばないと決めたけど‥」と内心思いながらも寺澤さんの提案を聞くと、印象が一変！「西に開いたプランニングで、陽当たりと眺望に恵まれた家ができる。南の家はまったく問題ない」と、配置イメージまで明確に語ってくれて。この土地でもプラン次第でそんな豊かな暮らしが出来るんだ！と、目からウロコ。同じ土地の案内だったからこそ、結果的に担当者のパフォーマンスの違いも明確に見えましたね。

他社さんとはどんな点を比較検討されたのですか？

奥　様　提案力はもちろん、対応の丁寧さも決め手でした。フォレストさんは資料のつくりが丁寧で、資金計画も細やかで具体的なライフプランまで提示してくれた。ひとつひとつは小さなことですが、一生のお付き合いになるので、信頼できる会社を選びたいという思いが一番でした。
それと、土地紹介ツアーの後に一緒にお昼ごはんを食べたのですが「このままでは信州の森も林業も危ない」と力説する寺澤さんが印象的で。地域材利用で信州の森と林業を健康にという理念に強く共感しました。
それまでは正直、金額の安い他社に決めかけていましたが、もし他社を選んだら「やっぱりフォレストにすれば良かったね」と言い合う未来が見えて‥。土地ツアーの一日で、私たちの気持ちは一気にフォレスト寄りに(笑)。

ほかにも、当社を選んで良かったと思う点はありますか？

奥　様　飯山市にある主人の実家の山の木を、薪ストーブ前の柱と梁に使ってもらえたこと。本当は実家の新築のためにとお祖父ちゃんは望んでいましたが、叶わなかったのです。孫の代で願いを実現でき、今は亡き祖父も喜んでいるはずだと父母も感激してくれました。家族が集まるリビングの木が先祖の山から来たと思うと、先祖に家族が守られ、ひとつになっているような、あたたかい気持ちです。やわらかな無垢の床のキズも、棚の漆和紙の色味の深まりも、人の皺といっしょで年月を経て味わいを増す家だと実感しています。

営業
寺澤周平

山登りがご趣味のY様は「大好きな穂高岳を眺める暮らし」というイメージが明確で、それならこの土地だ！と直感。土地ツアーでは地縄を仮に張って、南隣地との距離感を確認しました。ちょうど土地が値下がったのも、何かの縁でしたね。

西の大きな吹抜け。ワイドなはめごろし窓から、たっぷりの陽射しと北アルプスの山並みを存分に楽しむ。

TVがあるのは二階の共有スペースだけ！見たい番組だけの視聴で、お子さんと接する時間が密になったそう。

諏訪展示場に倣った造作洗面は、オーブンでも見栄え良く来客に重宝。家族の洗面と分けた目的別プランが大正解。

悩み抜いたカーテンプラン。お気に入りのレースをロールカーテンの内側に設け、いつも室内から眺められる。

Coppa's Home Visit 84

新古が解け合う家

Old and New Harmony

蔵の町・須坂の市街地に暮らすM様の土地には、
築200年以上の土蔵や大きな枝垂桜など、遺したいものがたくさんありました。
古き良きものを活かしながら、それらと調和する新築住宅を建てる。
Old と New が互いに価値を高め合うようなM様の家づくりをご覧ください。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit No.84

須坂市　M様ご家族／ご夫婦２人
※お子さま３人は独立されています
竣　　工／H28年9月　営業／大沢芽衣
敷地面積／135.71坪　IC／酒井彩也子
延床面積／39.07坪　施工／平澤雄太

新築の住まいが、隣の蔵にとても馴染んでいますね！

ご主人　ありがとうございます。土地の入り口に建つ蔵は文化３年(1806年)の古い建物ですが今となってはできない造りで、壊さず再生したい思いがありました。住まいの建替えと合わせて、**蔵のリノベーションもフォレストさんに依頼**。まず最初に蔵の色を決めて、それに合うように新居もコーディネートしてもらいました。町並みにも調和する美しい建物は、我が家の財産になったと感じています。

奥　様　室内も**和モダンをテーマに**まとめてもらいました。特に私が好きな空間は、和室。仕切りの襖すべてが壁に引き込め、毎日長い時間を過ごすリビングと広くつながるので、日常使いにも重宝しています。

パートナーに工房信州の家を選ばれた決め手を教えてください！

ご主人　建替えのタイミングと考えた退職まで二年を切り、勉強がてら住宅公園へ。そこで見学した工房信州の家は、香りや肌触り、**五感で感じる良さ**が印象的でした。ただその時は、高気密高断熱の他メーカーに決めようと思っていたのですが‥他社の完成宅を何軒見ても、感性に響くものがない。決めきれずモヤモヤしていた頃、担当の大沢さんに近くの完成内覧会に誘っていただき、そこで改めて**「感性が求めていた家は、これだ！」**と実感。
他社の機械ありきの構造に対して、工房信州の家は、風通しを考えた設計やエアコン要らずの夏の暮らし方など、**昔の家の良さを取り入れる**点にも共感。古き良きものの価値を分かっている会社だと感じました。

奥　様　メーカー決定までは、主人しか見学に行かなかったんです。主人のセンスを信頼して任せていたので(笑)。その後一緒にバスツアーに参加し、娘と同世代の**若い方が活き活きと頑張っている**姿に好感が持てました。

ご主人　スタッフ皆さんとても親身で、私も関わる場面が多く**一緒に家づくりをしたという感覚**が強くあります。計画上やむなく伐採した庭のイチイを玄関取っ手や帽子掛けに再利用してくれ、材の削りは担当の大沢さんが手伝ってくれたことが良い思い出。ステンドグラスや引き子づくりも体験し、昔からものづくりは好きだったなぁと思い出しました。今も我が家に少しずつ手を加えて、自分らしく発展させていくことを楽しんでいますよ。

担当　大沢芽衣

眺める景色もK様のこだわりの１つ。四季折々で表情を変える庭や山の景色を住まいに取り込む設計です。

昔からある桐箪笥をリフォームし、リビングに。古き物の価値を今に活かす、M様の思いが垣間見える。

玄関入って正面に位置する対面キッチンには、縦格子の目隠しが。和の空間を美しく演出し、お気に入りだそう。

存在感あるエンジュの床柱や飯山仏壇を中心に設計した本格和室。美しい雪見障子からは、庭の椿が望める。

Focus on the Owner!!

小布施町出身の日本画家　中島千波さんがお好きで、住まいのあちこちに作品が。飾れる壁や棚を多く設け、楽しみながらレイアウトしているそう。玄関建具のステンドグラスも、中島さんの版画　秋明菊がモチーフのデザイン。

タテヨコに駆け巡る家

Coppa's Home Visit 83

階段を登ると広がる仕切りのない大空間を、縦横無尽に駆け回る子どもたち。
その中央に位置するスキップフロアのオーディオコーナーは、絶好の秘密基地。
「実用性」と「面白味」を兼ね備えた、注文住宅の魅力が詰まったY様邸を訪ねます。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit No.83

長野市　Y様ご家族／
ご夫婦とお子さま３人の５人家族
竣　　工／H28年3月　営業／栗崎彩子
敷地面積／92.33坪　　IC／酒井彩也子
延床面積／44.08坪　　施工／平澤雄太

楽しい工夫がいっぱい詰まった
お宅！ワクワクする空間ですね！

奥　様　子供たちの空間はどーんと広い方がいいと、仕切りのないオープンなつくりに。存分に遊べて、お掃除も一気にできてラクです。一階はアイランドキッチンと薪ストーブを中心にした使い勝手の良い間取り。家事導線の良さは子供も感覚的に分かるようで、何も言わなくても食器を運んだり**進んでお手伝いをしてくれます！**

ご主人　ちなみにキッチンコンロは私のセレクト。たまの休日に庭先のバジルでソースを作ったり、気に入った器具だと気持ちも高まります。

奥　様　私はキッチンから見える、選木ツアーで長女が選んだ**柱と梁の眺めがとても好きなんです。**伐採のあと年輪を見た山守さんが、これは植林ではなく自然に芽が出て生き延びたたくましい木ですねと教えてくれて。そんな木を選んで我が家に迎え入れたこと、とても誇らしく思います。

土地と建物を決めるまでの
エピソードを教えてください！

奥　様　長野市への定住希望でしたが、当時南信に住んでおり自力で土地探しは大変で‥。今の土地は工房信州の家から紹介されて巡り合った場所で、当時はまだ造成前。利便性の良さや大通りから一本入った落ち着きなど希望に合う環境に惹かれましたが、あまりの早さで決めることに少しの戸惑いもあったのが正直なところ。でも土地は縁だというし、特に長野市は土地の動きが早いので、**思い切って決めて正解でした。**

ご主人　私は仕事で県産材の助成金と関わることがあり、色々な工務店は知っていました。一般的に地域材は割高なイメージですが、工房信州の家では独自で流通体制を整えて、**コストの無駄を省き効率よく地元の木が使える。**小さな工務店にはないしっかりとした体制と、大きなメーカーにはない地元密着の在り方に惹かれました。
また実際にいろいろな展示場に行くと、木の家と一概に言っても息苦しさを感じる家が多く‥。工房信州の家の**体がリラックスする感覚**も決め手のひとつ。その時感じたとおり、毎日のびのびと過ごしていますよ。

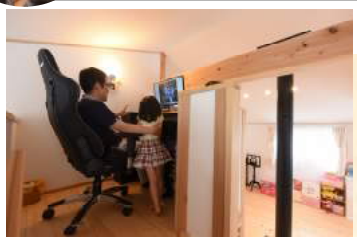
プランナー　片桐寿美

とてもとても仲の良いＹ様ご家族。
いつも家族のつながりやぬくもりが感じられる家になるよう心がけました。

キッチン棚と一体のピアノコーナー。お気に入りの間接照明は、スマートなデザインで、明るさもバッチリ。

家の裏手には小さな公園が！ちょうど良い位置に設けた小窓から「おやつだよー」と声をかけるお姉ちゃん。

ご主人のこだわり・高蓄熱式のスイス製薪ストーブは、暖房効率を考え住まいの中心に。上部は吹抜けではなくあえて天井を設け、一階全体に暖かさが広がる。



Focus on the Owner!!

音楽鑑賞好きのご主人こだわりのオーディオコーナーは、こもるのではなく家族で共有する空間スタイル。斜天井の高さを活かし、吹抜けの一角にスキップフロアを設けた。家じゅうに音楽が届き、ますます音楽好き一家になれそう！

GALLERY HOUSE

アートギャラリーのような家

長年にわたる中国赴任を終え、安曇野に生活拠点を移したK様。
現地で集めた調度品が活きる空間、をテーマに、終の棲家を建てられました。
「この家がいちばん映える時間帯」とK様が勧めてくださった夕暮れに、
ギャラリーのようなお住まいを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.82

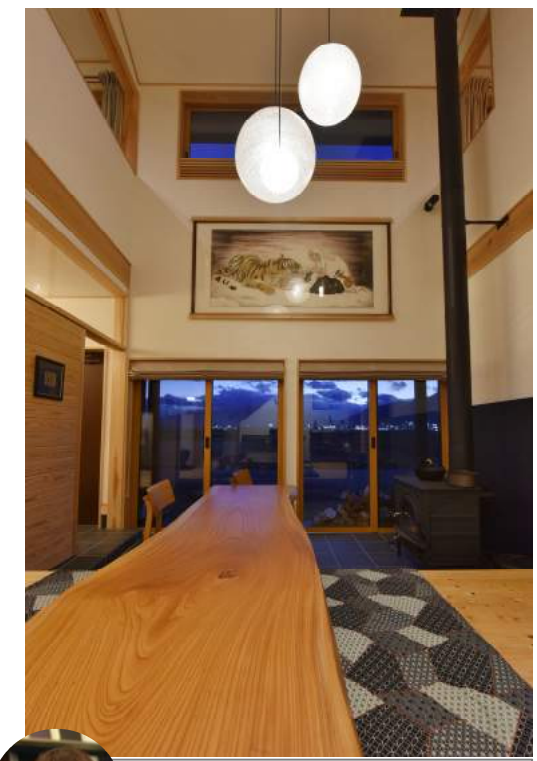
安曇野市　K様ご家族／
60代ご夫婦２人住まい
竣　　工／H28年7月　営業／岡澤良充
敷地面積／67.72坪　　ＩＣ／松岡純子
延床面積／ 36.82坪　　施工／仁ともか

外から拝見すると、上品な画廊のようです！設計上のこだわりは？

ご主人　仕事で中国に赴任していたころに、趣味でいろいろな絵画や置物を集めていたんです。当時住んでいた集合住宅では折角の品々を上手く飾る空間がなかったので、新居のプランニングでは、どの絵をどこに飾ろうかと考えながら検討しました。
もうひとつのこだわりは、眺めの良さ。南側に田んぼが広がる開放感が気に入って決めた土地なので、これを活かした家にしたいとお願いしました。
サイズの大きい絵画を飾るには大きな壁が必要で、開放的な眺めを楽しむには壁は極力減らしたい‥。**相反する２つの要望**に、スタッフの皆さんには非常に苦心していただきましたが、**どちらの条件も見事に両立した空間**になったと思います。

自慢の品々に囲まれた空間で、お住まい心地はいかがですか。

ご主人　この家には、くつろぐ場所が数えきれないほどあるんです。どこにいても居心地が良く、**どこから見ても絵になる家**ですね。なかでも一番好きなのは、土間の椅子に腰かけて見上げる吹抜けの眺め。吹き抜けのペンダントライトは通常は一灯ですが、ありきたりだよねとコーディネーターの松岡さんに言ったところ、大小様々な三灯の組み合わせを提案してくれました。これが個性的に空間を演出してくれ、毎日でも見飽きることがありません。
空間の連続性がある点も気に入っています。リビングから土間へ、そして庭へと、空間が緩やかにつながり淀みがない。それから、寝室と吹き抜けをつなぐ幅広の建具。昼は南側を開放して山並みを眺め、夜は北側を開放して室内の調度品を眺めて‥と、空間のつながり方に変化を持たせられる点も良いですよ。
冬は薪ストーブの炎を眺める特等席で一杯。夏になったら、縁側でカエルの大合唱を聞きながら一杯。贅沢な暮らしですが、これまで長年働いてきましたからね。**退職まで頑張った自分への、ご褒美のような家**です。



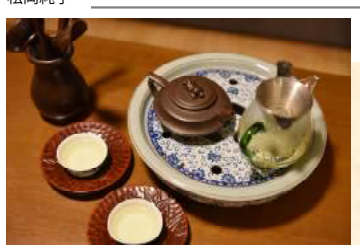
コーディネーター
松岡純子

純粋な和でも洋でもない、K様オリジナルの空間を目指しました。暮らしながら、ふとした時に「良い家だな」と感じて頂ける住まいになったと思います。

すべての窓から北アルプス等の山々が望め、吹抜けに面したカウンターも開放感抜群。右手奥は幅広の建具でつながる寝室、左手は蔵書をまとめた書庫コーナー。

リビング脇のライブラリー。三畳の広さが、くつろぎの時間に丁度良い。

見る角度によって表情を変える、三灯の照明。黒のタイルの土間と一枚板のテーブルが空間を引き締める。



Focus on the Owner !!

赴任時にハマったという、中国茶。街に無数にある茶館で、淹れてくれるお茶とつまみをいただきながらウンチクを聞く。現地の人との関わりが楽しく、本場の茶器も買い揃えたそう。
リビングにはお茶の神様・陸羽(りくう)の置物も！

いつも一緒に
自分時間を
たのしむ家

鉢植えを手入れする奥様の傍らで、ストーブの火加減を見守るご主人。
いつも隣にいて、たいてい別々のことをしている。
でもそれが、なにより心地良い時間。
自分時間をふたりで楽しむ、ご夫婦の穏やかな暮らしにおじゃましました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.81

茅野市　K様ご家族／
ご夫婦２人住まい
竣　　工／H27年11月 営業／藤原雄佐
敷地面積／128.88坪　I　C／奥村瑠美
延床面積／ 31.30坪　施工／林　正義

工房信州との家づくりを決めたエピソードを教えてください！

奥　様　家づくりを思い立ってまず諏訪住宅公園へ行き、土日の二日間で公園内のほぼ全ての家を見学しました!中でも気に入った会社をもっと知りたいと、翌週、伊那と上田の展示場へ。**二週間という短期間で集中して見学**したので、各社の考え方や接客の様子など、比較検討しやすかったです。

ご主人　多くの家を見て、機械で管理する高気密高断熱の家か、外と繋がる環境共生型の家か‥どちらも良さがあると悩みました。不安点をノートに箇条書きにして、二週間の最後にもう一度諏訪展示場へ。営業担当の藤原さんに質問をぶつけました。そのとき、**何を聞いても答えてくれる真摯な姿勢**が、最終的な決め手になりましたね。

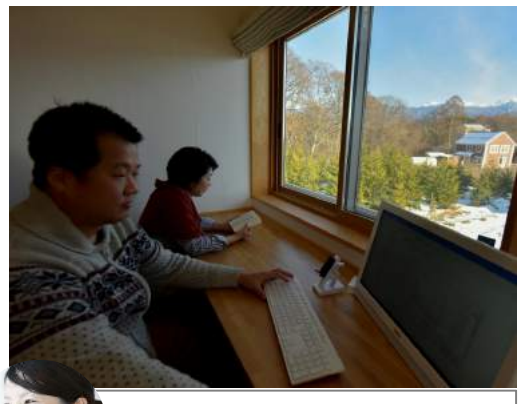
土地探しにもこだわられたそう。ここでの暮らしはいかがですか。

ご主人　土地探しのテーマは、八ヶ岳を望めること。希望通りの土地を藤原さんに紹介してもらい、**家じゅうどこからでも開放的な眺め**を楽しめます。中でもとびきりの眺望が、１階の和室と２階の書斎コーナー。山並みはもちろん、東側の林も雰囲気が良く、カモシカの姿を見かけたことも！背の高い木々は、夏は日差しを遮り、冬は落葉して光が差します。工房信州**の設計デザインコードの考え方**にぴったりの働きですね。

奥　様　敷地も広いので、畑もやりがいがあります。園芸は本来私の趣味ですが、今は**私が栽培プランを立て、体を動かすのは主人**という役割分担に(笑)。突然の来客にも畑の野菜を手土産にできて便利ですよ。

薪ストーブも当初は私の要望でしたが、今では主人の担当分野。斧での薪割がいい運動で、楽しいみたい。**薪ストーブ料理**も好きで、焼き芋・手羽先のカレー・ジャム作りなど‥休日の凝った料理は主人が作っていますね。

ご主人　薪ストーブのある土間サロンは、工房信州の家を建てるなら必ず欲しいと思った空間のひとつ。今はフライデーナイトにゆっくり晩酌するのが楽しみですが、いつかこの土間サロンで賑やかに宴会をしたいですね。この家を建てて、**休日の過ごし方ががらりと変わりました。**前はアパート暮らしで、家でグータラするかウィンドウショッピングに出かける位しかなかったのが、今は午前は家の仕事・午後はホームセンターに買い出しにと忙しい！**夫婦それぞれにやる事がたくさんあって、濃い毎日**を過ごしています。



コーディネーター
奥村瑠美

趣味を楽しむ奥様と、それをそっと見守り続けるご主人。八ヶ岳を望むこの地らしく、自然を採り入れながら豊かに暮らしていただいています。

三畳の和室は二面に窓が連なり、パノラマビューが自慢！
建具の開閉でリビングと一体にもゲストルームにも使える。

汚れて帰宅しても、玄関からWIC(写真奥)を通って浴室に直行！
裏動線があると、忙しい朝も家族の動きが重ならずに便利。

階段の二段目に腰かけるのが、くつろぎの時間のご主人の定位置。リビングと土間と、庭と、その先の眺望をワイドに眺めるこの目線がいちばん好きなのだそう。

Focus on the Owner !!

奥様の趣味のひとつが、多肉植物を育てること。お日さまの光と薪ストーブのぬくもりに包まれる土間サロンに、50以上の鉢植えが！手入れをするのにも、たまに外に出すのにも、土間はぴったりの空間！

信州愛にあふれる家

信州の山が大好きで、山小屋での出会いをきっかけに生涯のパートナーとなったAさまご夫婦。
おふたりが生活の拠点として選んだのも、やはり信州でした。
念願叶ってのAさまの信州ライフは、この地に住まうどんな信州人よりも
此処で生きることの喜びに満ちているようでした。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.80

大町市　A様ご家族／
　ご夫婦とお子さんの３人住まい
竣　　工／H28年3月　営業／船田亜美
敷地面積／146.71坪　IC／田下美由希
延床面積／ 36.48坪　施工／山住和志

信州にIターンしたきっかけは？

ご主人　登山やアウトドア、ウィンタースポーツが大好き！というのが私たち夫婦の共通項ですが、山好きの人間にとって「北アルプス」は憧れの的。**アルプスの山並みを眺めながら暮らしたい**、というのが移住を決めた一番の動機です。土地探しでもいちばん重視した条件は眺望の良さでした。

奥　様　以前住んでいた関西では窓を閉め切って生活することが当たり前の環境だったので、窓を開け放って**信州の爽やかな空気のなかで毎日を過ごしたかった**んです。

家づくりで大切にしたポイントは。

奥　様　まずは「県産材」でネット検索して、工房信州のことを知りました。輸入材は防腐薬剤などが心配でしたし、**せっかく緑豊かな信州に家を建てるのだから信州の木で建てたい**と思ったので。

ご主人　工房信州の家は最初からいちばん良いと思ったものの、資金不安があり坪単価の安い地元工務店も比較検討しました。でも他社では要望がうまく伝わらなかったり、標準外の追加費用が多かったり、色々なもやもやが‥。その点、工房信州は提案内容がすごくよかった。私たちの思いによく耳を傾けてくれ**熱心さが伝わるプランニング**でした。金額面でも希望していた予算内でバランスのとれた提案で、これなら頑張ろう！と前向きに思えたことが決め手です。工房信州なら標準仕様で質の高い家ができる―まず建物はシンプルにつくって**暮らしながら自分たちで家を育てていく**、という道筋が見えたこともポイントですね。

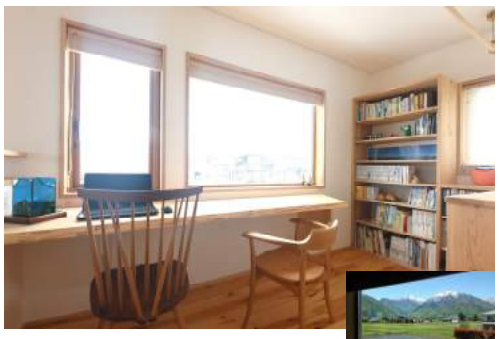
暮らしぶりを教えてください！

奥　様　もともとたくさん持っていたアウトドア用品。土間サロンにチェアを置いて、七輪でBBQをしたり、庭にタープをはって土間と一体的に使ったり。**アウトドアを日常の一部として楽しめる空間**が嬉しいです。大好きな山にすぐ行ける場所に越してきたのに、我が家に居る時間が増えました(笑)

ご主人　はじめての冬支度では、薪棚づくりから斧での薪割りまで自力で頑張りました！春になったら庭木を植えて芝も張りたいし、休日はもっぱら庭仕事に追われています。でもそれが楽しい。まだまだやりたいことがたくさんあるので**「我が家はこれで完成！」と言えるのは数年先**かもしれませんね。

ブランナー
小川貴司

積雪が多い地域で耐震性を確保する為の柱・梁・壁の配置…実は非常に苦労しました。耐震と広がり間取りの両立はブランナーの永遠のテーマです。



二階書斎コーナーのはめごろし窓。アルプスと田園風景の眺望が見事！

冬でもアカマツの床にごろりと寝転んであそぶ。無垢の木肌が薪ストーブのぬくもりを含んで、なんとも心地よい。

ダイニングは飛騨家具。テレビは壁付ですっきりと。奥の土間収納には、アウトドア用品と食料品がずらりと並ぶ。収納棚は既製品を組み合わせて、機能的に。

Focus on the Owner !!

夏は家庭菜園から毎朝採れたての野菜を収穫。ときには土間サロンにごはんを広げて絶景を楽しみながら家族団欒を楽しむことも。愛用のｺｰﾋｰﾒｰｶｰはCHEMEX。「気に入ったものだけを、長く使いたい」とAさま。

八ヶ岳の山すその家

自分のこだわりを実現できることも大事。
家族みんなが楽しく笑顔で暮らせることも大事。
でもA様がいちばん大切にしたのは、八ヶ岳の風景に馴染む家であること。
土地とともに在ることのお手本のような、富士見の家を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit No.79

富士見町　A様ご家族／
ご夫婦２人とチワワ１匹
竣　　工／H27年9月　営業／後町勇貴
敷地面積／151.57坪　I　C／奥村瑠美
延床面積／ 39.01坪　施工／林正義

土地にぴったりの素敵なお宅！どんなふうに計画されたのですか。

ご主人　建設地の候補として、実家の田んぼなどがいくつかあったのですが、なかでも景色が良いという理由で今の土地に家を建てることに。担当の後町さんと一緒に広い田んぼに立って、八ヶ岳がいちばんキレイに望める位置をリビングにし、そこから配置計画を考えました。そのとき、八ヶ岳の稜線に沿うような大屋根の外観というアイデアや、二階に眺望を楽しむための"スカイデッキ"をつくりましょうという提案で盛り上がりました。**この風景に調和し、環境を活かした家づくりができそうだ**という手ごたえがありましたね。

家づくりのパートナー選びには迷わなかったのですか。

奥　様　はじめて見学に行った諏訪展示場で、片流れ屋根の外観やダイニングの大きな円卓を見て、一目でビビッときました！印象を一言で言えば、"おしゃれ"。**富士見にとても似合いそう**だと思いました。直感でいちばん気に入ってはいたものの、でも他も比較しないとこわい‥という思いがあり、最終的に決めるまでは長かったですね。

ご主人　他社を見るのと並行して、工房信州の家のすべての情報を得るべく、社長の本をAmazonで購入したり、CATVの10分番組を予約してじっくり見たり、LINEも欠かさずチェック。ぜんぶ調べ尽くした、と満足するまで５か月かかりました(笑)。
最終的な決め手は、専属のインテリアコーディネーターがいること。**専門性の高いスタッフが担当に就いてくれる**ことは、他社にはない安心材料でした。

奥　様　スタッフ皆さんと主人が協力して企画してくれたサプライズもすごかったんです。工事中はまだ婚約中で、引渡し日に入籍日を合わせたのでとても特別な日だったのですが、新居の収納の中に大きな花束が隠してあったり、薪ストーブの中にずっと行きたかったレジャーチケットが入っていたり、工事現場で事前に撮影してくれたビデオレターが投影されたり‥びっくりだらけの記念日になりました。**こんなふうに関わって下さるスタッフの皆さんに出会えたことに感謝**です。

ブランナー
小川貴司

信州の風景に似合う設計は常に心がけていますが、"稜線"をこれほど意識したお宅は初めて！書斎は吹抜けの浮島のイメージで、いい空間になりました。

朝食はさっとカウンターで(写真左)、夕食はゆっくり円卓で(右)。正面のPCカウンタースツールはBUNACO。

玄関から続く通り土間で、南庭への行き来も自在。ベンチとTVもあり寛ぎの一部屋としても。

二階の吹抜けの一角に、ご主人こだわりの書斎コーナー。憧れの空間だが、今は一人でこもるよりも家族と一緒に過ごす時間が圧倒的に長い、とご主人。

Focus on the Owner !!

庭づくり・畑づくりに凝っているご夫婦。取材日はほとんどが雪に埋もれていましたが、お手製のドッグランはきれいに現れていました。結婚前から奥様が飼われていたチワワのヒナちゃんも大喜び！

Xmasプレゼントと猫の家

「上田に箱階段がステキな家がある」「ペットと暮らすならこの家をお手本にするといい」
竣工から２年。スタッフの間でもたびたび話題に上がる、遊び心にあふれたお住まいを訪ねました。
その家づくりは、クリスマスの話題からはじまったそう。
Kさまのユニークな家づくり物語を、どうぞご覧ください。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.78

玄関の丸窓が、住まいの顔にK様らしい柔らかな個性を印象付ける。

上田市　K様ご家族／
ご夫婦と娘さんと猫１匹
竣　　工／H26年12月　設計／片桐寿美
敷地面積／106.78坪　　ＩＣ／川村裕子
延床面積／33.08坪　　施工／林　大輔

家づくりのきっかけをおしえてください！

ご主人　三年前の12月のはじめに、何気なく「クリスマスのプレゼント何がいい？」と尋ねたら、妻の答えは**「家がほしい」**!! いつもは何も要らないと言う妻だったのでびっくりしましたが、だからこそ「じゃあ、建てるか」とすんなり決意できました。

奥　様　ちょうど子どもが生まれてなんとなくマイホームを意識しはじめた時期だったので‥**いいタイミング**と思い、言ってみました(笑)。それからすぐ住宅公園に行って、展示場の外にあった「グッドデザイン賞受賞　土間サロン」の看板に惹かれて真っ先に工房信州の家に入って、年末には プランの打合せを始めました。とんとん拍子でしたが、不思議と迷いはなかったです。

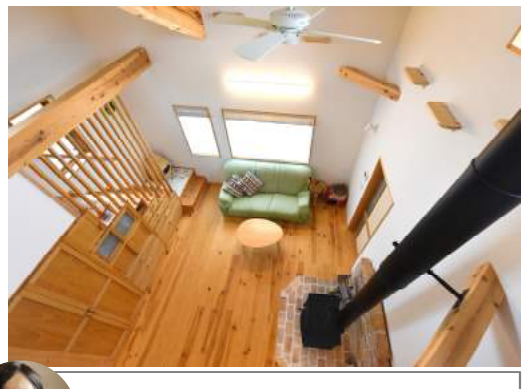
ご主人　工房信州の家の**素材や空間づくりが、とても肌に合う**感覚を持てたからだと思います。スタイリッシュというより、古き良き民家のように気取らずのんびりとできる家が理想で、工房信州ならぴったりの家づくりができそうだと思いました。当初は寛ぎの家の象徴として"縁側"をイメージしていましたが、上田展示場の**土間サロンを見て「縁側より実用的!これだ!」**と。

ほかにも、楽しい工夫がたくさんありそうですね！！

奥　様　TVで見たことのある"箱階段" や "丸窓"など、憧れのイメージを設計に取り入れて頂きました。スタッフの方からも階段脇の縦格子のデザインをご提案いただいたり、選木ツアーの木の枝を建具の引手に活用してもらったり。**「古民家風」という テーマがいろいろなアイデアに発展**して、楽しかったですね。

ご主人　もうひとつの大事なテーマは「猫と暮らす家」。土間やトイレの建具にキャットドアを付けて、自由に行き来ができるようにしました。ただ住み始めてみたら、梁の上に登ろうとしたり想像以上に活発に動きまわるので、吹抜けにキャットウォークを付けてもらいました。後付けなのでブラケット金具が表に出てしまいましたが、**家じゅうを飛び回る愛猫の姿を見られて満足**。アパート時代と比べ体重もかなり減りました！

奥　様　娘と猫が無垢の床でのびのびとじゃれ合う姿を見ると、この家を建てて良かったなぁと思います。家族みんなにとって**最高のクリスマスプレゼント**でした！



ブランナー
片桐寿美

当初からご要望いただいた「箱階段」を、玄関入った正面に印象的に見えるよう設計しました。竣工から２年。住めば住むほどK様らしい家に育てていただき嬉しいです!

憧れの古民家テイストを演出する箱階段。リビング周りの雑貨はもちろん、子ども服や家族みんなのインナーなどをたっぷり収納し、とっても実用的！

休日のゆったり朝ごはん、汚れてもへっちゃらのキッズスペース、光がたっぷり入る洗濯干し場と、万能に使える土間サロン。

キャットウォークへは、子ども室から出入りができる。各空間のつながりのデザインも魅力的。

Focus on the Owner !!

ご夫婦の出会いの場となった消防団にちなんで、和室の襖紙はオレンジと紺色のツートンカラー！消防服やヘルメットは階段下に収納し、いつでもさっと出動できます。(取材日も活動から帰宅したばかりのご主人を撮影させて頂きました)

エアコン１台で過ごす、自分サイズの家

薪ストーブに手をかける余裕はないし、大きな吹抜けも贅沢すぎる。
それでも、家族で笑い合える時間が過ごせるだけで、最高の"我が家"になる。
20代で家づくりを決心したＩ様の、等身大の家づくりを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.77

安曇野市　Ｉ様ご家族／
ご夫婦とお子さんの３人住まい
竣　　工／H27年6月　　営業／船田亜美
敷地面積／66.27坪　　IC／田下美由希
延床面積／33.56坪　　施工／仁ともか

工房信州の家はご存じなかったそうですが、決めたきっかけは？

ご主人　結婚当初から早くマイホームが欲しいという思いがあり、子どもを授かったことをきっかけに具体的に動き始めようと、まず住宅公園に行ったんです。たまたま工房信州の家の前に車を停めて、その日の最後に**ふらっと展示場に入ったのが工房信州との出会い**でしたね。

奥　様　その日はいくつか他のメーカーの展示場も見て、どこも「ウチの家はこんなにいいですよ」と売りを熱心に説明してくれたのですが‥。私は正直、結婚したばかりの私たちに本当に建てられるのかなと不安でいっぱいで、営業マンの説明は頭に入りませんでした。でも工房信州の家だけは違って、案内してくれた船田さんが冒頭に**「無理のない計画を提案しますので、大丈夫。建てられますよ」**と言ってくれて。それで緊張が一気にほぐれました。その時点では不安は一切口にはしていなかったのですが、この人になら相談してもいいかも、と思えたことが一番のきっかけだったかもしれません。

新居にどんな要望がありましたか？

奥　様　一番のテーマは**「休日も家に居てもいいなと思える家」**。前のアパートは夏暑く冬寒く、閉鎖的な空間で、休日はすぐ外に出かけていたので。ただ、あまり具体的なイメージではなく抽象的な要望しかなかったのですが、スタッフの皆さんが意図を汲み取って具体化してくれました。完成して住み始めてから、ここまで考えてくれてたんだと改めて気づくこともたくさん！

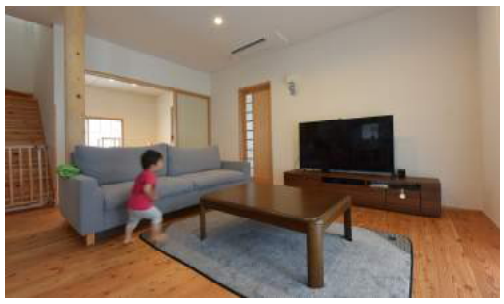
冷暖房はエアコンだけだそうですね。お住まい心地はいかがですか？

ご主人　薪ストーブは火を扱うことにどうしても抵抗があり、ルームヒーターは灯油代がかさむし、蓄熱暖房は大きくて場所をとるし時間帯にも制限があると聞くし‥。**エアコンが一番気軽**だと考え、希望しました。リビングの天井に埋め込んだエアコンは18畳用ですが、**基本的にこれ一台で夏冬過ごしています。**

奥　様　冬は20℃設定で十分あったか。１月の電気代は２万円でした。夏は風通しが良くエアコンは数回使う程度で、日当たりも良いので照明も点けず、８月の電気代は6000円ほど。**我が家らしい選択ができて良かった**です。

営業
船田亜美

建物自体はシンプルながら、Ｉ様ご自身が自分らしい家へと進化させていく暮らし方がとても素敵！リラックスしてのびのび毎日を過ごしているご家族の姿が印象的です。



「子どもが家じゅうをぐるぐる走り回っている姿を見るのが幸せ。ゆったりとした空間は、気持ちもゆったりとさせてくれます」と奥様。

３畳の吹抜けでもこんなに明るい！一部はスノコ床で、窓の開閉に、お布団や洗濯干しに大活躍。遊び場としても面白い、お気に入りの空間。

リビングと繋がるすっきりとした和室は、お子さんの遊びにもお昼寝にも重宝。

Focus on the Owner!!

小物好きのご夫婦のために、あちこちに飾り棚を。結婚式を象った松本市の作家・田之上尚子さんのイラストも、ブーケのドライフラワーも、この家ではずっと色あせない。お気に入りの時計の"青色"を基調に住まいもコーディネート。

三方よしの家

~森も、家族も、職人も~

「三方よしの家づくりがしたかったんです」と語るご主人。
"三方よし"とは、売り手よし・買い手よし・世間よしの３つのよしを示す近江商人の心意気ですが、Ｙ様が目指した家づくりの先には、"信州の森"や"職人さん"がより良く発展していくために、とのはっきりとした願いがありました。
家族はもとより世間にも胸を張って「よい家づくりをした」と言える、そんなＹ様邸を訪ねます。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.76

上田市　Ｙ様ご家族／
ご夫婦とお子様の３人住まい
竣　　工／H28年5月　　営業／石原由貴
敷地面積／96.75坪　　Ｉ　Ｃ／藤澤知広
延床面積／36.82坪　　施工／林　大輔

工房信州で家を建てる、その決め手は何でしたか？

奥　様　私はシンプルに、展示場に入ったときの感覚ですね。塗り壁の質感や、木の香り、**とにかく空気感が抜群に良かった。**他の住宅展示場とは明らかに違いました。

ご主人　いちばんは地域材を使っていること、特に松を積極的に使っている点に惹かれました。松は本来、建築材として最高だと聞きますが、曲りがあるから扱いが難しく現代では敬遠されがち。効率が優先されがちな今、安易に新建材を使うのではなく**敢えて手のかかる地域材を使う**ことはとても意味のあることだと思いました。

無垢材を使うほかの住宅会社さんとも迷われたと伺いました。

ご主人　そうですね。建物自体は甲乙つけがたかったのですが、決め手はフォレストの会社の取り組みでしょうか。「社員大工育成」に象徴されるように、**長期的な視点でモノづくりを考えている会社**だと思いました。職人を育てていかなければ、技は消滅し専門性はなくなり、お客さんのモノへの愛着も育たなくなります。
私は家に限らず「いいものを長く」という考えを持っており、そのためには**"三方よし"の家づくり**が必要だと思っていました。フォレストなら、家族はもちろん、**職人さんのためにも森のためにもなる家づくりができると**思ったんです。

奥　様　遠方に住む両親を招いたところ、気に入って「いい家を建てたね」と言ってくれて。自分たちのエゴではなく、**周りの人にも喜んでもらえる**こと、嬉しいですね。

竣工から３か月。お住まいになっていかがですか？

ご主人　上田展示場の落ち着いた雰囲気が気に入って、同じような吹き抜けのないリビングを希望しました。かといって閉鎖的にならないよう、階段とからめた北の吹抜けで抜け感もあります。南に田園が広がる土地なので、**フルオープンサッシもカーテンも開放して過ごしています。**風通しもバッチリですよ。

奥　様　ひと夏を過ごしましたが、エアパスの効果に大満足！工房信州の家に住む友人宅に夏に伺ったことがあるので良さは知っていましたが、**上田でも真夏もエアコンなし**で過ごせました。昼間だけ扇風機を回したり、よしずを立てかけたりといった工夫で十分。次は冬の暮らしが楽しみです。

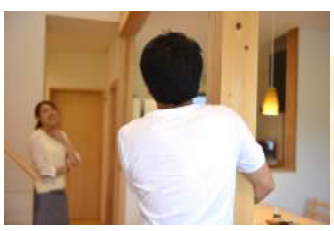
営業
石原由貴

信州らしい風景を眺めて生活したい、とのご希望に沿った土地探しをしました。田園風景はどのお部屋からも観ることができる眺望を活かした間取りになりました。

キッチン背面収納は国産ヒノキを使い、香りも手触りも楽しめる。「収納しておいたタンブラーを持って出かけたら、ヒノキの香りがして驚きました」と奥様。

通り土間をはさんだ和室は、将来のご両親との同居を見据えた設計。軽やかなファミリースペースとは趣向を変え、旅館のような趣ある空間に。

玄関から続く通り土間は人が集う場。住まいの中心で、奥のキッチンとも会話ができる。今後は土間にテーブルを置いて、おもてなしの空間として発展させていくそう。



Focus on the Owner !!

ご主人は以前仕事で森林整備に携わり、松くい虫の被害から松林を保全する活動をされたそう。特にマツタケの産地でもある上田市は赤松が多い。選木ツアーで、信州の森の様子を「妻に見てもらえてよかった」と話されていました。

おひさまの家

丹精込めて育てられた草花や野菜たち。
山並みと田園に囲まれたのどかな風景に映えるM様のお宅は、
一見してその暮らしの豊かさを感じさせます。
テレビに映る安曇野の豊かな暮らしに魅了され、この地に終の住処を構えることを決めたM様の、
家づくりの歩みや現在の暮らしぶりを、いっしょに訪ねてみましょう。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.75

北安曇郡松川村　M様ご家族／
ご夫婦２人住まい
竣　　工／H26年3月　　設計／小川貴司
敷地面積／179.4坪　　I　C／富岡可奈
延床面積／35.26坪　　施工／堺澤健一

千葉から安曇野へ移住された きっかけを教えてください！

ご主人　景色が良くて涼しい所に移住したいという思いは以前からありました。候補地は他にもありましたが、NHK連続テレビ小説「おひさま」で、常念岳を見ながら井戸水で顔を洗ったり、わさび園の水車や蕎麦畑の中を散歩したりというシーンを見て、**こんな生活がしたい！**と。

奥　様　遠方住まいでの土地探しは思うように動けず、結局２年かかりました。最初は地域の不動産屋さんに声をかけましたが、親身ではなくてあまり頼れず‥。計画が停滞していたころ、偶然テレビで知った工房信州の家に見学に行き、そこで出会ったスタッフさんが熱心にサポートしてくれたことで土地探しも前進しました。**土地探しでも住宅会社が頼りになる**と実感しました。

念願叶っての田舎暮らし。 信州の生活はいかがですか。

ご主人　夏は扇風機すら要らなくてびっくり！自然の風通しだけで十分爽やかに過ごせます。冬は朝晩だけ薪ストーブに火を入れ、日中は太陽のぬくもりで十分暖かいので、よっぽど寒い日でなければ一日中焚き続けることはありません。**エアパス工法の考え方は理想的だと思いましたが、実際に効果もバツグン**で驚きです。

奥　様　千葉でも畑を借りたりベランダで花を育てたりはしていましたが、今はゆとりある敷地で思う存分土いじりができます。ご近所付き合いも楽しくて、春は山菜・秋はきのこ・シーズン通して野菜と、あらゆるものを分けてもらっています。最近は近所のリンゴ農家にアルバイトに行って、ごほうびに大量のリンゴをもらってきました。

ご主人　退職してそのまま都会暮らしを続けていたら、毎日何をしていたかなぁ‥と思うことがあります。今は、畑の世話やご近所さんとの交流や、**毎日やることがいっぱいで、それが楽しい。**私は移住前とは比べ物にならないほど真っ黒になりました(笑)。

奥　様　周りの人には移住について「思い切るね」「奥さんよく我慢できるね」と言われましたが、むしろ**移住してからのほうが生き生きと暮らしています。**毎朝カーテンを開けると、美しい朝焼けや白鳥が舞う大空、虹がかかった田園など、折々の風景の豊かな表情にいまだに感動をおぼえることもしばしば。毎日の暮らしに豊かさを感じられるこの家で、まだまだやりたいことがたくさんありますし、自分たちの想像以上に暮らしが広がっていくことが楽しみです。

コーディネーター
富岡可奈

ご夫婦の雰囲気に合う大人な空間になるよう、照明や色味を計画しました。M様流信州の楽しみ方は、長野県出身の私達にもとても参考になる暮らし方です。

ゆったりとしたリビングは、ウッドデッキにも土間サロンにもつながり、すぐに庭に出られる。

２階の吹抜けに面したカウンターは、ご主人の書斎。普段は障子を大きく開け放って開放的に、建具を閉めれば客間に、可変性ある空間。

使い勝手も見栄えも良い造りつけ収納。富岡が提案したペンダント照明も良い雰囲気。「完成してから良さが分かる提案がたくさん」と奥様。

Focus on the Owner !!

趣味は親族14名での山登り！お子さんが幼稚園の頃から十数年、毎年北アルプスに登るのが恒例行事。今ではバルコニーや土間サロンから思い出の山荘の様子を眺めるのが日課。今度は頂上から双眼鏡で我が家を探すのが夢なのだとか！

開け放つ家

長野市郊外に位置する、おおらかな土地で家づくりをされたKさま。
恵まれた環境を前に「開け放てられる、開放的な家」というご夫婦の要望は必然だったのでしょう。
部屋をこまごまと区切りすぎない広がり間取りと、南側全面に設けた大きな開口で、
家じゅうどこにいても光と風を思う存分楽しめる心地よい暮らしにおじゃましました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.74

ガレージはファサードのポイントにもなり、
濡れずに玄関と行き来ができて便利。

長野市　K様ご家族／
　ご夫婦とお子さんの３人住まい
竣　工／H28年3月　　営業／小坂篤史
敷地面積／197坪　　I　C／藤澤知広
延床面積／39.9坪　　施工／平澤雄太

家づくりのきっかけや工房信州との出会いを教えてください！

奥　様　休日のお出かけついでに、上田展示場にふらっと立ち寄ったのが最初でした。**いまどき土間の家があるんだなぁ**と、新鮮な驚きがありましたね。それから土地探しが思うように進まずにいたのですが、実家から空き家になった土地を譲り受ける話をもらったことがタイミングに。広い土地なので、花や野菜を収穫して作業するのに土間のある家がぴったりだ、と思いました。

ご主人　もともと雑誌でいくつかの木の家が気になっており、工房信州の家もその中のひとつ。住宅メーカーから工務店まで何社か見学しましたが、機械ありきの家の在り方には違和感を感じました。そんな中、**エアパス工法のつくりは非常にシンプルで理にかなっていて、機械に頼らずメンテナンスの心配もない。**共感できました。
もう一つの決め手は、自分の山の木が使えること。もともと希望があったわけではありませんが、工房信州の積極的な取組みを聞き、祖父の代から手を入れてきた山の木を活かせるなら是非使いたい！と。

竣工から３ヶ月。
お住まい心地はいかがですか？

ご主人　きれいに住み続けられる家を目指していましたが、**それぞれの空間に収納がしっかり**とあるのできちんと片付けられています。夜寝る前には机の上に物がない状態に、というルールを家族で決めたことも大きいかも。薪ストーブも汚れを気にせず使えるよう、土間に置いてもらいました。
使い勝手も良さそうで、本格的な冬が来るのが楽しみです。
それから、**意外にも遮音性がとても良い**のが嬉しい驚きでした。道沿いでも車の音が全く気になりません！

奥　様　アクセントカラーをモスグリーンにして、土間の洗面器や家具にも取り入れましたが、一番こだわったのはキッチン壁面のタイル！雑誌で見たイメージを参考に気に入ったタイルを探し、目地もブラックの色味でカッコよくまとめました。**毎日使う空間は機能性ももちろんですが、気に入ったデザインにこだわって**とてもよかったと思います。

営業
小坂篤史

庭に繋がる開放的なプラン、田園と山並みに溶け込む美しい佇まい、想像以上のお住まいが出来ました。立地条件・環境を最大限活かすことを大切に、ご提案します。

フルオープンサッシで外とのつながりが濃密な土間サロン。機能的でありながら、人を招く空間としてデザイン性にもこだわった。

太鼓梁や柱は、ご主人実家の山の木。節の少ない美しい材が、代々手をかけてきた持ち山の歴史を物語るようだ。

奥様こだわりのキッチンタイル。生活空間からもよく見え、インテリアのアクセントにも。

Focus on the Owner !!

職場の華道クラブで生け花に触れた奥様。家のあちこちで、気負わずさりげなく活けられた花が暮らしを彩ります。庭の花壇は、お父様が使っていた重機のキャタピラを再利用！今後の庭づくりも楽しみのひとつ。

焼き立てパン香る、小麦の家

その日の気分に合うパンをお子さんと一緒にこねた生地でつくり、焼き立てを朝ごはんに。
付けあわせは、庭木のジューンベリーの実でつくった奥様特製のフレッシュジャム。
団らんの時間は、ご主人お手製の飾り棚からお気に入りの絵本を選ぶ。
何気ない日常がとびきり贅沢なT様の暮らしを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.73

伊那市　T様ご家族／
ご夫婦とお子さん２人の４人住まい
※ご主人はお仕事のため、取材日は不在でした。
竣　　工／H27年2月　　営業／赤沼悟史
敷地面積／83.63坪　　I　C／奥村瑠美
延床面積／33.71坪　　施工／林　正義

福岡出身のご夫婦。信州での家づくりを決めたきっかけは？

奥　様　就職で長野県に来たものの、将来は地元に戻るからずっと賃貸暮らしかな‥と思っていました。けれど子どもが生まれて大きな音を出してしまうことが多くなり、同じアパートの方から苦情を受けてしまったんです。それ以来、子どもに「走らないでね」と言い聞かせて窮屈な思いをさせるのが可哀想になってしまって‥。**のびのび暮らせる戸建てに住もう**と決心しました。
当初は建売で十分と考え、ハウスメーカーに決めかけていたのですが、ふと目にした工房信州のチラシが気になって完成住宅を見に行ったんです。軽い気持ちで行ったはずが、入った瞬間、部屋いっぱいにひろがる木のぬくもりや香り、空気感‥。夫婦そろって「これだ！」と一目惚れでした。

建売の選択肢が一転したんですね！工房信州への要望やこだわりは？

奥　様　せっかく信州に住むなら思いっきり信州らしいところがいいと要望を伝えたところ、担当の赤沼さんが土地ツアーで景色の良い土地をバッチリ案内してくれました。その中でも、アルプスが望めるけれどすぐに市街地にも行ける、**景色と利便のバランスの良い今の土地**に決めました。
私はもともとキッチンに立つ時間が長くて、アパートでは家族に背を向けて作業せざるを得ないのがとても嫌でした。新しい家はアイランドキッチン！と決めており、キッチンから空間を考えていきました。
キッチンに立つと、家全体や庭であそぶ子どもにもちゃんと目が届き、**料理しながらコミュニケーションがとれる**理想的な空間。子どもも進んでお手伝いしてくれます。

ご主人の暮らしぶりにも大きな変化があったと伺いました！

奥　様　庭に興味のなかった主人がガーデニングを楽しんでいるんです！はじめに自分で芝を張ったのですが、その芝が根付いて生き生きとしてくる様子を見て、目覚めたみたい(笑)。毎朝早起きして水やりをする姿、休日にお店で苗を選ぶ幸せそうな顔‥。**人が変わったよう**です！
引っ越して一年半経ちますが、汚れや傷がつくといまだに居てもたってもいられず、黙々と手入れしています。無垢材の凹みは濡れ雑巾とアイロン、珪藻土の汚れはハイター、畳のクレヨン汚れは歯磨き粉‥と、メンテナンスの知恵がどんどんついています。**こんなに大切な住まいになる**とは、期待以上でした！

営業
赤沼悟史

土地も建物も、あまり迷うことなく直感でお決めいただいたT様。信頼をいただいた分、暮らし始めてから想像以上の満足を得られるよう、提案には力を入れました！

天気の良い休日はウッドデッキにランチを広げて、お手軽ピクニック気分を味わうそう！

ものづくりが得意なご主人作の子ども椅子。絵本棚や収納棚も自作し、どんどん“我が家”らしく育っていくのも楽しみのひとつ。

２階共有スペースは、今は絵本を読む場に、数年後には勉強コーナーに。お子さんたちが大好きな場所！

Focus on the Owner !!

将来は自宅でパン教室を開くべく、資格取得に励んでいる奥様。取材日はお子様のリクエストを受けて、あっというまにメロンパンを焼きあげていました！現在は、ご友人から要望があればワンコインでパン作りを教えていらっしゃるそう。

Coppa's Home Visit 72

まちの営みを見晴らす家

家づくりの軸に迷う方は、意外とたくさんいらっしゃいます。
M様も、ひとつタイミングが違えば、分譲マンションや鉄筋コンクリートの家など
まったく異なる暮らしを始めていてもおかしくありませんでした。
人の縁と土地の縁に支えられて今の形になった、M様の家づくり物語を伺ってみましょう。

コッパくんのお宅訪問

Coppa 's Home Visit　No.72

長野市上松　M様ご家族／
ご夫婦２人住まい
竣　　工／H27年9月　営業／柳澤悠子
敷地面積／151.57坪　I　C／川村裕子
延床面積／ 39.01坪　施工／平澤雄太

家づくりの決め手は、スタッフの後押しだったそうですね。

ご主人　当初は、家づくりにしっかりとしたスタンスを持てていませんでした。利便の良い分譲マンションでも良いし、大空間のRC造も良い、将来は長野以外の土地に移住を‥と考えればコンパクトな平屋でも良いと、**いろいろな選択肢**があってふわふわとしていたんです。
もし土地を買うなら景色の良いところ、と話したことを担当の柳澤さんは気にかけてくれていて、眺めの良い売地が出るたびに熱心に情報を届けてくれました。
３度目に届けてもらったこの土地を見学に行ったところ、高台から見える長野市街の夜景にすっかり魅了されてしまいました。**またとない土地に出会い**、せっかくなら建ててしまおう、と背中を押されました。

奥　様　この眺望をより活かすために、平屋案は却下し二階建てにしましたし、絶景ポイントに設けた土間サロン・人目を気にせず窓を開けられるお風呂・大きな窓のある二階など、まさに**この土地あってこそのプランニング**になりました。
柳澤さんの軽やかなフットワークのおかげで実現した家づくりですね(笑)。いろんな選択肢がありましたが、縁が重なってこの家が建てられて本当に良かったです。

眺望はもちろん、内装もとっても素敵ですね。こだわった点は？

ご主人　展示場を見る中で木の家のぬくもりある質感は気に入っていたのですが、**構造材をあまり表に出さないすっきりとした空間**にしたいと思っていました。イメージを伝えるために、気に入った美術館やギャラリーなどの写真をたくさん打合せに持っていきましたが、生活感のないイメージを機能性とのバランスを保ちながらいかに取り入れるか、スタッフの皆さんには非常によく考えていただき感謝しています。
リビング周りは間接照明で、極力天井に照明器具を付けないご提案をいただきました。とても良い雰囲気で大満足です。

奥　様　パントリーや書庫等のバックヤードも充実していて生活スペースはすっきりと暮らせるし、アイランドキッチンの動きやすさもバッチリ。**機能面重視の私の希望もしっかり両立**してくれました。
家づくりを通して、自分達に必要なこととものを見極めて、それ以外は必要ないと割り切ったことが、すっきりとした家づくりの実現につながったと思います。

担当　柳澤悠子

生活の様々なシーンに、信州らしい景観を楽しむ暮らしを取り入れました。工房信州の家ならではのご提案ができました！